

お正月を迎えて「申年」

二〇一六年の干支は、「申」年です。

動物のサルのごときは「猿」と書きますが、干支のサルでは「申」という漢字を使います。これは干支をわかりやすくするために、対応する動物を当てはめたからで、「申」(本来の読みは「しん」)という干支に対して、動物のサルを当てたため、読みも「さる」となりました。

「申」は、干支の十二支の9番目になります。方角は(西南西「西から南へ30度の方角」とさる、意味は「伸ばす」で、「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して

香りと味がそなわり固く穀におおわれていく時期」をいいます。言い伝えから見ると、申年の人の性格は？昔から山の賢者とされ、山神として信仰されてきました。

また、気から木へ俊敏に飛び移ることから、申年の人は、機敏でユーモアあふれる冗談で人を笑わせます。

さらには新しいもの常に求める好奇心あふれる性格だと言われています。良く言えば、挑戦者なわけですが、行動や思想が人と違うことから厄介だ

発行
桐生 山 鳳 仙 寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311-177
FAX(0277)4016000

平成28年度 年回表		
1 周忌	平成27年(2015年亡)	
3 回忌	平成26年(2014年亡)	
7 回忌	平成22年(2010年亡)	
13 回忌	平成16年(2004年亡)	
17 回忌	平成12年(2000年亡)	
23 回忌	平成6年(1994年亡)	
27 回忌	平成2年(1990年亡)	
33 回忌	昭和59年(1984年亡)	
37 回忌	昭和55年(1980年亡)	
43 回忌	昭和49年(1974年亡)	
47 回忌	昭和45年(1970年亡)	
50 回忌	昭和42年(1967年亡)	
100 回忌	大正6年(1917年亡)	

江東区清和会主催参拝団が来山しました

平成27年11月16日、東江東区江東区の区議会議員さんその後援会「清和会」の皆さんが80名で来山しました。



富岡製糸場と鳳仙寺を巡るツアーです。本堂にて法話と読経の後、堂内や境内の紅葉を楽しんで帰られました。ご来山有り難うございました。

代理理事長に就任しました。創立60周年事業もあり大変ですが、今年一年応援したいと思います。

音楽イベント『耳をすまして桐生』が開催されました

境内で奏でる音楽はとても優しく、お寺の雰囲気にあつていて心地の良い時間でした。また、鳥の声も素晴らしいBGMです。



10月16日、鳳仙寺の境内に於いて音楽イベント『耳をすまして桐生』が「昼の部」と「夜の部」と二公演で開催されました。

第1部では、音楽プロデューサーの「守時 タツミさん」のピアノ演奏が行われ、山の谷間にあ



守時タツミさんは、音楽プロデューサー・ミュージシャンとして活躍されています。元ブルーハーツ・ハイロウズのヒロトと共に上京し、音楽活動を開始。その後、バンドを離れ、いろんなジャンルのアーティストのライブサポートを行う。今まで関わったアーティストは、佐野元春、ザ・ハイロウズ、Kinki Kids、藤井フミヤ、hitori、田村直美からClementineにまで至る。ナレーションと音楽で綴った昔話、おとえほん“という作品を発売中です。現在は、ライブ活動にて全国をツア

第十九回写経の会のご案内

第十九回写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年2回行っている恒例の行事です。開催日である2月15日は、涅槃会(ねはんえ)です。涅槃会とはお釈迦様が亡くなりになった日です。当日は、涅槃会の法要を行った後に、写経を行う予定です。皆さまの参加をお待ちしています。

※締め切りは 2月13日(土)まで
※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。
電話 0277(32)1177
FAX 0277(40)6000
◆お申し込み・お問い合わせはお寺まで。



1中、またFMラジオ深夜便に出演しています。
夏川陽子さんは、桐生市出身の歌手で現在、都内と群馬を中心にLIVE活動しながら、ポーカーユニットMとして活躍中です。
当日は、少し肌寒い氣候でしたが素晴らしい演奏と朗読の会になりました。

賀正

世話人 天笠勝美	住職 坪井 良廣
板井政夫	副住職 坪井 良樹
板倉秀夫	総代 石原 竹雄
岩崎峯生	太田 亨文
岩崎親道	峯崎 一男
内野正章	田島 輝雄
梅澤 誠	岩崎 岑生
大里政由	小林當二
大澤淳一	小林詔一
小此木久四郎	小林満寛
金居成治	五味田 博
	清水 清
	清水 義男
	清水 洋
	前原美佐保
	茂木邦武
	吉田長生
	田嶋愛子
	中村 清
	館 盛治
	堤 和由
	根岸一二
	羽田野孝崇
	廣神重子
	平方佳介

【あいさつ】

『除夜の鐘』を撞いで 今年の厄払いをしまじよう!

除夜の鐘

ご祈禱は、随時受け付けております。

12月31日は、毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは11時30分頃を予定しています。古いお札や縁起物・お守りは、境内にてお炊き上げをいたしますのでこの機会にご持参ください。

また、本堂では甘酒や温かい珈琲の接待のほか、新春のご祈禱、破魔矢、お守りなど縁起物の頒布をおこなっています。

元旦0時から本堂にて本年の厄を消除する、年始めのご祈禱であります。「元朝大祈禱(がんちようだいきとう)」を行います。ご家族の方、ご近所の方をお誘い合わせのうえ、ぜひともご参詣ください。

平成28年度 厄年表

前厄	本厄	後厄
男		
60歳 <small>昭和32年生</small>	61歳 <small>昭和31年生</small>	62歳 <small>昭和30年生</small>
41歳 <small>昭和51年生</small>	42歳 <small>昭和50年生</small>	43歳 <small>昭和49年生</small>
24歳 <small>平成5年</small>	25歳 <small>平成4年</small>	26歳 <small>平成3年</small>
女		
60歳 <small>昭和32年生</small>	61歳 <small>昭和31年生</small>	62歳 <small>昭和30年生</small>
36歳 <small>昭和56年生</small>	37歳 <small>昭和55年生</small>	38歳 <small>昭和54年生</small>
32歳 <small>昭和60年生</small>	33歳 <small>昭和59年生</small>	34歳 <small>昭和58年生</small>
18歳 <small>平成11年</small>	19歳 <small>平成10年</small>	20歳 <small>平成9年</small>

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数

新春祈禱

元旦より5日まで毎日、新春のご祈禱を行っております。時間は、朝9時〜午後4時半頃まで。20分程の間隔で随時申し込みができます。年の初めに厄を払い素晴らしい1年のスタートと成りますようご祈願をお勧めしております。

「が開催され、30名の中国人観光客が鳳仙寺へ来山しました。これは、日本と中国の

内閣府主催

「日本・中国青少年親善交流事業」

両国青年の相互理解と友好の促進をはかることを目的とし、内閣府による中国青少年日本招へい事業 群馬県庁・伊香保温泉・太田市のスバル工場などを訪れ桐生では、鳳仙寺、桐生織物記念館や四辻の



内閣府主催「日本・中国青少年親善交流事業」



産嘉を見学しました。

除夜の鐘 開運 厄除け

ゆつたりと落ち着いた
雰囲気
で
厄除けができます

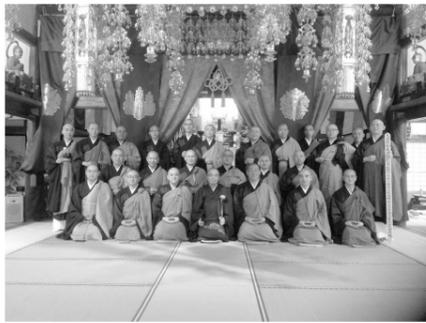
1月1日から5日まで

家門繁栄、善星皆来、悪星退散、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全、諸病平癒、無病息災、安産祈願、合格祈願、諸願成就などです。

大本山總持寺

二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌法要

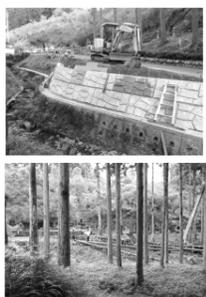
9月15日鳳仙寺本堂にて、群馬県曹洞宗青年会主催「大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師650回大遠忌法要」を十八拜差定にて修行いたしました。



峨山韶碩禪師様は、總持寺の二祖として「五哲(五院)」あるいは「二十五哲」と呼ばれた多くの優れた門弟を育成。さらに、その多くの門弟が協力して、總持寺を維持し発展させるために住職を一定期間で交代させる「輪住制」を確立するなど、700年近くも前に、既に「人材育成」と「教団の将来ビジョン」に深い思いをもち、ただひたすらに總持寺の住職として42年間勤め、曹洞宗の教えを全国に展開する基盤を形成しました。

『道路拡張工事を進行中!』

鳳仙寺の参道工事の第二期工事が始まりました。お寺に上がる一本道部分を相互通行が出来るように、川部分に擁壁を造り、道路を拡張します。



道路端に立つ杉の木を切っていますが、かなり大掛かりな作業。クレーン車2台出動でした。公共工事ではないので大変です。

と2万5千人の僧侶、そして数百万人を超える檀信徒を要する国内最大の教団に至ったのは峨山禪師の功績によるものが大きいとされています。



御詠歌

だより

曹洞宗群馬県宗務所「第58回梅花流県奉詠大会」が、藤岡市のみかほみらい館で開かれた。約500人の梅花講員が日ごろ練習を重ねている御詠歌を大舞台で披露した。

御詠歌は仏を敬う気持ち、梅を、メロディーを付けて唱えるもの。梅花流は曹洞宗の御詠歌で、講員は曹洞宗の教えを学び、実践するため活動している。

県内51寺院の講員が8組に分かれ、息を合わせて鈴や鉦を鳴らしながら2曲ずつ優しく歌い上げた。開会式では、東日本大震災と、今年30年を



写真は、桐生の講員の登壇の様子

世話人さんの交代

鳳仙寺の世話人さんをお勤めいただいた方がこの度退任する事となりました。長年に渡り当寺護持の為にありがとうございました。また、新たに世話人になれる方をご紹介いたします。永年にわたり有り難うございました。

●退任される世話人さん
東 洋一さん、岡島 栄さん、長谷川孝元さん
●新世話人さん
小滝和貴さん、小林 詔一さん、根岸 一二さん

坐禅と朝粥の会

毎月一日(正月を除く)朝七時より八時頃まで坐禅と朝粥の会を行っております。(会費無料)

迎えた日航機墜落事故の犠牲者への追善供養も行った。